

がんばれ！イクメンパパ



イクメン・カレッジ開催

平成22年12月から今年2月の間、3回にわたり、隅田地区公民館で「イクメン・カレッジ」が開催されました。講演会、ワークショップ、パパの料理教室など盛りだくさんの内容で、みなさん終始和気あいあいとした雰囲気での会でした。

聞く



みんなで講師先生のお話を聞きました。



ママたちでワークショップ



最終日にはパパとママと一緒にワークショップ！



12/19の調理実習の様子



真剣な表情で料理の説明を聞くパパたち。

意外に手慣れた感じ？



愛娘をおんぶしてがんばるパパの姿も…



とっても素敵なクリスマスができました。



イクメン・カレッジに参加して（アンケートより）

- ・参加したことで、考え方が変わったと思います。（パパ）
- ・いろいろな意見を聞き、自分の家庭でも取り入れていこうと思う事がたくさんあった。これからは育児を楽しみながら頑張っていきたいです。（パパ）
- ・お父さん同士のつながりがもっと強まるといいと思いました。（パパ）
- ・パパにイクメンを目指してほしいと思い参加しましたが、逆に自分も良い子育ての勉強になりました。（ママ）
- ・パパ同士のトークで、今までに聞いたことのない声が聞けて良かった。（ママ）

主催側 隅田地区公民館長の感想

今のお父さんはみんな良くがんばっています。集まれば大きな力を出し合えます。お母さんに比べ、集まる機会が少ないだけなんです。これからもそんなお父さんを応援していきたいと思っています。

作る

イクメンパパ、見つけた！

パパ・奥村忠雄さん
 麗ちゃん（8才）
 瀧ちゃん（5才）
 権くん（2才）



毎日育児に携わっていると、子どもが毎日成長していく「人間のすごさ」を感じますという奥村さん。育児を通じて自分自身が成長している気がする、世界観が広がったなどと、たくさんの良かったことを挙げてくれました。

また育児の難しさを感じるのは、子どもの自主性を重んじること、マナーやしつけを教える時のバランス、大人の時間感覚で子どもの時間を測ってしまう時だそうです。

♥ママからひとこと

いつも助けてくれてありがとうございます。これからもよろしく願います。

パパ・尾崎真人さん
 優志くん（5才）



寝かしつけ、読み聞かせ、ごはん作りと何でもこなせる尾崎さんが育児に携わって良かったことは気持ちが若返ることなんだそうです。

「厳しすぎず甘すぎず、縛りすぎず自由にさせすぎず、怒りすぎず…などというように、育児はバランスを取ることが非常に難しいですね」とおっしゃいます。

保育園での子育て講座にも積極的に参加してくださっています。

♥ママからひとこと

優志はパパが大好き！二人目が生まれても、ずっといいパパのままでいてくださいね！



※げんきっこでは、「イクメンパパ」を紹介しています。自薦他薦を問いません。どしどしご応募ください。教育委員会 家庭教育支援室「げんきっこ・イクメンパパ、見つけた！」係（TEL33-1111 内線1381）

子育てはっぴい あどばいす

あるお母さんと担任の先生、支援チーム員の私が話していた時のことです。「ほんまにこの頃、親の言うこと聞けへんねん(´^`)!!」と6年の子を持つお母さん。すると聞き役だった担任の先生が話されました。「私が子どもの時、『親にむかってその口の聞き方は何や!』って、叩かれた事あります」柔らかい笑顔の先生です。そんな子ども時代があったなんてビックリ!「『親なんか、な〜んにも気持ち分かってくれへん』と真剣に家出を考えた事あります」と思わず私も。あるあると頷いてくれる二人です。トゲトゲしていたお母さんに、笑顔が戻ってきました。



大人になるまでにどの子どもみんな、思春期というでこぼこ道を通っていくんですね。親に反発する力が将来の自立につながります。

でも、日々の子どものバトルは親にとってつらいものです。ヘトヘトになります。こんな時、『おしゃべり力』を発揮しましょう。「ちょっと聞いてー(´^`)!!」、昨日うちの子にババアって言われた!」と話してみよう。そうしたら、いつもにっこり挨拶してくれる花子さんが、怒りまかせにドアをバタンと音高く閉めていることや、イクメン王子の太郎君の口からも「うっさい!」の言葉が出ていることが分かります。

困った時、疲れた時、『ちょっと聞いての立ち話』が「な〜んや、みんなの家もそうなんや」と緩んだ気持ちにしてくれますよ。

